

会 員 各 位

(公社)日本医業経営コンサルタント協会
事務局 事業部事業第一課

個人研修（自宅学習）の新規教材の販売開始のお知らせ

個人研修（自宅学習）用教材として、**新たに 12 教材の動画配信が 10 月 31 日(木)より可能**となりましたので、ご案内いたします。

今回の新規教材は、平成 24 年度に実施した本部継続研修の一部です。

動画配信では、各個人のパソコンに継続研修の講座を直接配信し、映像を観ることにより履修が可能です。

個人研修の履修時間は、本部主催の研修時間として認定されます。医業経営コンサルタントの 1 登録期間内における個人研修の履修認定上限時間数は、必要履修時間数が 100 時間の場合は 50 時間まで、80 時間の場合は 40 時間まで、60 時間の場合は 30 時間までです。

新規教材と共に、既存の教材（CD-ROM：7 教材、動画配信：37 教材）も併せてご活用ください。

1. 購入方法・履修登録方法等

- ① 協会のホームページ (<http://www.jahmc.or.jp>) から会員専用ページにログインし、「研修情報」→「個人研修」の画面を開き、申込から履修登録までを行います。
- ② 個人研修の研修一覧の中より希望の教材をクリック選択し、申し込みをします。
- ③ 個人研修教材費の支払をし、入金が確認されると「個人研修入金確認・受講開始通知」メールが送信され、動画受講が可能な状態になります。（個人研修一覧内の「動画配信」ボタンをクリックすることで、動画が配信され、受講開始となります。）CD-ROM 教材をお申込の場合は、入金確認されると発送されます。
- ④ 履修に当っては、映像内 3ヶ所に記号を挿入してありますので、受講中に**会員番号 1 桁目に対応した該当の記号を記録**しておきます。（記号の確認方法については、個人研修申込画面にある「個人研修履修確認登録の確認キーについて」をご参照ください。）
- ⑤ 受講後、再度、協会ホームページ・会員専用ページ内の個人研修のページにアクセスし、「未受講」ボタンをクリックし、履修登録の画面で記号を入力し、履修登録をします。
- ⑥ 個人研修は、本部主催の継続研修となります。履修時間は 1 教材につき 2 時間の認定です。（履修上限時間は上記のとおりです。）
- ⑦ 受講と履修登録は、個人研修教材購入後 90 日以内に行ってください。
- ⑧ ⑦の履修登録期限内であれば、履修登録後でも、その講座を再度視聴することが可能です。

2. 価格

個人研修受講料：一教材（2 時間）につき 2,000 円（消費税込み）

3. 協会ホームページ「会員専用ページ」への入り方

協会本部事務局までお問い合わせください。

4. その他

- ・過去に協会本部で開催した継続研修の講義内容（一部、支部ビデオ研修として使用されていた内容を含む）が教材となったものです。内容をご確認ください。実際の研修を受講済みでも、個人研修として再受講することが可能です。
- ・CD-ROM教材の場合は、別途送料・梱包費 800 円がかかります。（教材数にかかわらずありません）

継続研修に関するお問合せ先：協会本部事務局 事業部事業第一課

フリーコール:0088-21-6996 / TEL:03-5275-6996 E メールアドレス:kensyu@jahmc.or.jp

教材 No.	研修ステージ (収録日)	教材名・講師
S2013007	セカンドステージ (H24-6-15)	<p>「医業経営における介護・福祉」 第 1 部「介護保険と介護サービスの仕組み」 服部メディカル研究所 所長 服部 万里子</p> <p><概要> 制度の仕組みと変遷</p>
S2013008	セカンドステージ (H24-6-15)	<p>「医業経営における介護・福祉」 第 2 部「介護サービス事業所の運営基準と介護サービス事業各論」 服部メディカル研究所 所長 服部 万里子</p> <p><概要> 介護サービスの企業と経営、各サービス毎の基本</p>
S2013009	セカンドステージ (H24-6-15)	<p>「医業経営における介護・福祉」 第 3 部「24 年度介護保険法改正と報酬改訂」 服部メディカル研究所 所長 服部 万里子</p> <p><概要> ①定期巡回・随時対応型訪問介護看護、②複合型サービス、③介護職の医療経営、④サービス付高齢者住宅、⑤地域包括ケア</p>
S2013010	セカンドステージ (H24-6-22)	<p>「患者サービスとリスクマネジメント」(患者管理体制の整備) 第 1 部 公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業部 副部長 遠矢 雅史</p> <p><概要> 医療機関を取り巻く環境の変化、マーケティング、サービスマーケティングの基礎知識</p>
S2013011	セカンドステージ (H24-6-22)	<p>「患者サービスとリスクマネジメント」(患者管理体制の整備) 第 2 部 公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業部 副部長 遠矢 雅史</p> <p><概要> 顧客満足、患者満足基礎知識、病院事例</p>
S2013012	セカンドステージ (H24-6-22)	<p>「患者サービスとリスクマネジメント」(患者管理体制の整備) 第 3 部 公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業部 副部長 遠矢 雅史</p> <p><概要> 患者サービスの品質評価、リスクマネジメント、コンフリクト・マネジメント</p>
S2013013	セカンドステージ (H24-5-23)	<p>「診療管理体制の整備」第 1 部「診療の質管理」 株式会社ストラテジックプロフェSSIONナルズ 代表パートナー 立川 幸治</p> <p><概要> 医業・医療サービスの中核は診療という行為である。その質を管理するにはそれを定義づけ、工程管理することが必須となる。本講では近年医療現場でも浸透しつつある診療の標準化を軸に診療管理の今とこれからについて概説する。</p>

教材 No.	研修ステージ (収録日)	教材名・講師
S2013014	セカンドステージ (H24-5-23)	「診療管理体制の整備」第2部「チーム医療と診療組織運営」 株式会社ストラテジックプロフェSSIONナルズ 代表パートナー 立川 幸治 ＜概要＞ 医療現場は典型的な職人集団グループの集合である。医師集団を扱うのは難しいとよく言われるが他の職種も実は五十歩百歩である。しかし、この多様なグループをまとめあげてはじめてチーム医療が実現し組織としての医療機関が成立する。本講ではその実態、現実とあるべきとを語る。
S2013015	セカンドステージ (H24-5-23)	「診療管理体制の整備」第3部「連携と分担 地域ヘルスケアサービスの将来像」 株式会社ストラテジックプロフェSSIONナルズ 代表パートナー 立川 幸治 ＜概要＞ 急性期と慢性期、医療と介護、病院と診療所、施設と在宅、様々な担い手が機能を分担しあうと同時にそれらを統合する「連携」の考え方、仕組み、それを促し支える制度の理解が重要になってきた。本講では地域という広がりをもった面でのヘルスケアサービス展開戦略を「連携」というキーワードを通して考える。
T2013002	セカンドステージ (H24-7-18)	「地域医療サポーター制度～住民に支えられ、地域医療を守る病院へ～」 飯塚病院 広報室長兼リクルート室長 萱嶋 誠 ＜概要＞（支部ビデオ研修としても使用されています） 住民と協働で地域医療の崩壊を防ぐために取り組んでいる「地域医療サポーター制度」。2012年5月18日時点で367名が地域医療サポーターの認定を得ている。この制度の目的や実際の取組み等を通じ、従来の増患を目的とした広報とは違う、新たな病院広報の役割を紹介する。
T2013003	セカンドステージ (H24-8-24)	「中小病院の専門特化による生き残り戦略について」 株式会社 NHF コンサルティング 代表取締役 認定登録 医業経営コンサルタント 藤中 秀樹 ＜概要＞（支部ビデオ研修としても使用されています） 中小病院の生き残り戦略の概要と専門特化による事例を紹介する。 ・中小病院におけるマーケティングについて ・ターゲットの選定や専門特化によるポジショニング戦略について ・生き残るための差別化戦略について ・高齢者・認知症専門特化より認知症専門病院の事例を挙げて、社会背景、診療内容、採算性、経営データ等の紹介
T2013004	セカンドステージ (H24-8-24)	「歯科医院の具体的経営改善事例」 株式会社MMP 代表取締役 認定登録 医業経営コンサルタント 鈴木 竹仁 ＜概要＞（支部ビデオ研修としても使用されています） レセプトデータを活用した歯科医院の現状・問題点の分析や、高齢者・女性・男性・子供それぞれの増患のための具体的な方法についての実例、少人数の歯科医院でスタッフのやる気を引き出す院内研修のすすめ方、クリニックですぐに実践できる具体的なノウハウ等を紹介する。

※ 上記新規販売教材以外に、既存の教材として CD-ROM が 7 教材、動画配信が 37 教材あります。